

庁議の概要

開催日 平成28年2月22日（月）

◎項目

- 1 2月定例県議会質問情報について【各部局等】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

- 1 2月定例県議会質問情報について【各部局等】

各部局等から、2月定例県議会の質問情報について説明を行った。

- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 対話と実行座談会について

（総務部）

「対話と実行座談会」を今週実施する。「対話と実行」については、テーマごとに取り組む「座談会」と市町村ごとに行く「行脚」の2本立てで今後も進めていく。今回は座談会の一回目で、教育委員会に協力いただき高岡中学校に行く。

（知事）

座談会については、今までの座談会から少し変更し、関係者に来ていただいて会議をして終わりではなく、行脚的な座談会にしたい。最初にそれぞれの取り組みの現場などに行き、お話を聞かせていただき、その後座談会をする形にする。現場に行っているいろいろな見て、意見交換もさせていただいたうえで座談会に臨ませていただく形がなお一層有効と考えている。市町村別の行脚は、今までとほぼ同様に市町村別にお伺いすることになる。

○ 東部観光協議会の法人化について

（観光振興部）

今年「東部博」を開催した成果の1つとして、広域の観光協議会の法人化が必要ということで、2月25日に一般社団法人高知県東部観光協議会の設立総会を開催する。この総会で定款や事業計画、収支計画等を承認し、その議事録をもって法人登記を行うことになっている。当面6名ほどの職員でスタートすることにしており、現在3名程の職員募集を進めているところ。

○ 監査結果について

（監査委員事務局）

先週、監査委員会議を開き今年の監査を取りまとめたので、その指摘の状況を報告する。指摘として県公報に載せる重大なミスは14件。内容は、予定価格調書を作成していない、証紙の収入調定をしていない、支払遅延により延滞金を支払った、年度を越え

た支払いも3件あり、うち1件は24年度のを26年度に払っていた。

そのほか、件数だけを公表している注意の件数が169件。昨年度が217件であり大きく減少した。大きく減少したのは検認関係であった。また、契約関係で、相手方の履行が遅れたときに延滞金をもらう際、延滞金の率が毎年のように変わるため古い率を使っているケースがあったが、会計が重点的に指導した成果なのか10件減少した。

引き続き適正な会計事務の確保に向けて取り組んでほしい。

また、行政監査として、本年度は県単独事業の補助金について監査をした。補助金を出してから一定期間を経過した段階で、補助金で整備したものの利活用の状況や補助目的の達成に向けて各課が指導をしているかどうかということを確認した。具体的には、平成24年度に交付した補助金を対象とし、該当の77補助金中、100万以下の少額のもの、備蓄物資確保が目的のものなどを除き、18補助金を監査した。結果は、事後のフォローなどでの問題は認められなかったが、補助金交付の際に5年間は活用状況等の報告を条件としながら報告書をもっていない、要綱で処分を制限する財産を別に定めると規定しながらその定めがない、市町村経由の間接補助金で市町村分に財産の処分に関する規程がない、といった事例があった。

このように、補助目的どおりに使われているが、事務処理で手抜かりが18件のうち9件ほどあり、補助金絡みの財産について規程が十分でないところがあるように見受けられる。

今後どうするかという点については、執行管理室を通じて指導があると思うが、対応をよろしくお願ひしたい。

○ 監査結果について

(産業振興センター)

2月26日に第30回地場産大賞の表彰式を行う。今年は歴代の受賞企業の方々やお世話になったマスコミの方などを広く呼んだところ、例年の倍の130名程度の出席になっている。よろしくお願ひしたい。

(知事)

受賞した事業も楽しみなものが多い。大きな飛躍を期待している。